

## 今年も「カヌー」のシーズンははじまりました

5月25日に北竜湖で、「令和7年度長野県高等学校総合体育大会カヌー競技大会」が開催されました。当日は、スプリント種目が行われ、小雨が降る肌寒い気象条件の中、選手皆さんは真剣にパドルを漕いでいました。

またこの日は、「いいやまかヌークラブスポーツ少年団」の小中学生による記録会も行われ、クラブ員約30名の小学生が参加しました。令和4

年に結成し活動4年目となる同クラブには、結成時から参加しているクラブ員も多く在籍。毎週末、将来の国スポ出場を目指し、北竜湖で練習を重ねています。

飯山市は2028年の信州やまなみ国スポにおいて、冬のスキー競技とともに本大会のカヌー競技の会場となっており、競技人口拡大や選手育成に向けて取り組みを進めています。



北竜湖で毎週末腕を磨く少年団の皆さん

## AC長野パルセイロが飯山市民を無料招待 「飯山市ホームタウンデー」開催

5月31日、日本プロサッカーリーグのJ3に所属するAC長野パルセイロが、飯山市民を無料で公式戦に招待する「飯山市ホームタウンデー」を開催しました。これは、ホームタウンとして連携している飯山市を含む県内16市町村との連携を深め、より多くの方にサッカーを楽しんでもらいたいとの思いから、同チームが実施しているイベントです。

当日は、アスパラガス、笹ずし、かりんとうなどの特産品の販売、2028年に開催される信州やまなみ国スポのPR、固定した自転車をこいでコーヒー豆を挽く「ちゃりコーヒー」などを出展し、来場者に向けて飯山市のPRを行いました。

この日開催された奈良クラブとの一戦は、飯山市民を含む両チームのサポーター約3000人が来場。試合は1



会場で行った飯山市のPRの様子

対0でAC長野パルセイロが勝利を収め、長野Uスタジアムに訪れたパルセイロサポーターは喜びに湧いていました。

## スポーツでの健康増進をお手伝い スポーツ推進委員をご紹介します

令和7・8年度の飯山市スポーツ推進委員をご紹介します。

スポーツ推進委員とは、スポーツ振興法に基づき、市民の皆さまにスポーツの実技指導と、スポーツに関する指導・助言を行う方々で、公民館事業、高齢者スポーツ教室等さまざまな場で、地域スポーツの普及と推進の担い手として、スポーツの楽

しさを伝える活動を行っています。

スポーツ推進委員による派遣指導等を希望される団体の方は、スポーツ推進課までお問い合わせください。

お問い合わせ  
TEL 0269-67-0746

◆飯山市スポーツ推進委員  
(令和7年度・8年度 敬称略)  
竹内亨、根食しのぶ、中村香織、村越実、堀田学、大平剛志、

関孝和、小川直樹、齋藤真彦、小嶋英治、渡邊一聖、田中淳、千野佑也



## 未来のオリンピック選手にご声援を！ 第33回 飯山市サマージャンプ大会

飯山市サマージャンプ大会を6月28日(土)、29日(日)の2日間、市営飯山シャンツェで開催します。小学生から一般選手まで、全国各地から選手が集まります。多くの市民の皆さまの応援を、よろしくお願いたします。

- 開催日時  
・オフィシャルトレーニング  
6月28日(土) 午前9時～  
・競技  
6月29日(日) 午前8時30分～
- 会場  
市営飯山シャンツェ
- お問い合わせ  
TEL 0269-67-0746



## 飯山市男女共同参画講演会 いいやま女性センター未来文化講演会 取材現場で感じたこと 長期連載「ともにあたらしく」から

- ・日時 令和7年(2025年)7月12日(土) 午後2時～4時(開場は午後1時30分)
- ・会場 飯山市公民館2階 講堂
- ・講師 青木 信之さん(信濃毎日新聞株松本本社報道部)

飯山市では「第5次飯山市男女共同参画計画『誰もが自分らしく暮らせる飯山市』」を策定しました。信濃毎日新聞の連載「ともにあたらしく」の取材班キャップである青木さんの講演を通じて「誰もが自分らしく」「ともにあたらしく」のふたつのメッセージをひとりでも多くの方と共有するための2025男女共同参画講演会です。

【お問い合わせ】  
飯山市教育委員会事務局 人権政策課  
TEL 0269-67-0743 (課代表)

## 満蒙開拓平和記念館 「夏休み子ども WEEKEND」

飯山市がパートナー自治体として登録している満蒙開拓平和記念館では、小・中・高校の夏休み期間にあわせ「夏休み子ども WEEKEND」を以下のとおり開催します。飯山市の小・中・高校生は、この6日間は入館無料となります。この機会にぜひご家族で記念館を訪ね、平和について考えてみませんか。

- 【夏休み子ども WEEKEND】  
令和7年(2025年)  
7月26日(土)、同27日(日)、8月2日(土)、  
8月3日(日)、同16日(土)、同17日(日)
- ・特別プログラム  
マンモウカイクって何だろう?、子ども向け館内展示ガイド、調べ学習や切り紙体験
- ・所在地 下伊那郡阿智村駒場711番地10
- ・電話 0265-43-5580  
(通常入館料 一般:600円 小中高生:300円)

## 人権学習シリーズ 互いの違いを認め合える社会に 人権政策課に相談いただいたAさんの体験を通して

私たちは皆、誰であろうと「違い」をもっていて、その「違い」を理解するのは自分事ではないと難しいと思います。けれど「違い」を認め合うことができれば、誰もが今より暮らしやすくなるのではないのでしょうか。

私は、見た目からはわかりませんが、「におい」にとても敏感で、特に揮発性の化学物質のようなにおいを吸い込んでしまうと3日も寝込んでしまうことがあります。小学生の時に油性マジックの臭いがかいた時に体調を崩し、自覚しました。以来気をつけてはいますが、見えない物なので、吸い込んでしまつて体調を崩し、仕事に行きたくても行かれない日もありました。コロナ禍では対策の為にあらゆる所にアルコールが置かれていたので、吸い込んでしまう機会が増え、体調を崩すことが続きました。薬を飲んですぐ治るのならどんなにいいかと

思っています。

ある職場の上司が「感知する能力の違いで、治すことはできないんだから君のままでいいんだ。十分に人の役に立っている。もし君が働きにくいなら、長い目で見れば健康者にとっても良い環境とは言えない。だから改善した方がいいんだ」と言ってくれました。

「合理的配慮」という言葉のない時代にこのような考えを持っておられ、配慮していただき、長く勤める事ができました。

自分の周りに同じ症状の人はいないと思い、インターネットで調べて、相談先を見つけました。私は「科学物質過敏症NPO法人」という所に相談しています。

この人権学習シリーズを読んでくださった方に「こんな症状もあるんだ」「〇〇さんも見た目ではわからないけど〇〇で困っているって言ってた」と気づいて、知っていただけでもかけになれば幸いです。